

科目名	EDU303: 児童英語教育演習 C				担当教員	狩野 晶子		
開講期	秋	開講時限	月1・2限	研究室	4203	オフィスアワー	P.19 を参照のこと	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP 及び学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	4,5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。					4-⑤,5-②	
キーワード	児童英語教育, 言語習得, 模擬授業, サービスラーニング活動, アクティブラーニング							
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、発展的な実践へと結びつける科目である。児童英語教育及び第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング活動としてイングリッシュフレンドに参加し小学生への授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。							
達成目標 (授業の目的)	児童英語の指導に必要な知識を、実践に結びつけ活用することがこの授業の目的である。サービスラーニング活動での実践の機会を活用して、児童期の英語指導の目的と意義に沿い、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具の作成をする。それらを用いて小学生への指導に向け模擬指導実践を行う。さらに小学生を対象に英語の指導を実践し、それをもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。							
到達目標 (学修成果)	児童英語教育の基礎知識を活かし、小学校での英語活動・英語教育の目的と意義に沿った指導案を作成できる。グループで小学校での英語活動・英語指導のための模擬指導実践を行うことができる。グループで指導案、教材および教具の作成を行い、授業準備のプロセスを経験し、小学生を対象とした実践を踏まえた相互評価と講評による省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。							
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢 (30%)、②指導案・教材作成 (20%)、③模擬授業 (20%)、④期末課題 (30%) の比率に基づいて総合的に評価する。							
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映したリフレクションを評価する。②児童特性を考慮した授業案作成への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ構成、準備と練習の成果を評価する。④Moodle での省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。							
準備学修の時間	本科目の一回 (100 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	児童英語教育・小学校外国語 (英語) 教育とは: これまでの学習内容の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義 グループワーク	グループワークをもとにリフレクション作成
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとにリフレクション作成
4	テキスト概観: 新学習指導要領に照らして小学校外国語 (英語) 教育を考える	講義 グループワーク	グループワークをもとにリフレクション作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	指導案をもとに模擬授業内容を作成・発表準備
6	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案を改訂・発表準備
7	小学校における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	学生発表 グループワーク	省察・相互フィードバックをもとに発表準備
8	小学生を対象としたテキストの指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案を改善・発表準備
9	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究 (1)	学生発表、指導実践 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	小学校モデル指導案の実践練習（1） Classroom English の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究（2）	学生発表、指導実践 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察
12	小学校モデル指導案の実践練習（2） 教材・教具の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究（3）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察
14	小学校モデル指導案②の研究 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究（4）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察
16	小学校モデル指導案の実践練習（3）	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究（5）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察
18	小学校モデル指導案の実践練習（4）	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究（6）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察
20	小学校モデル指導案の実践練習（5）	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究（7）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察
22	小学校モデル指導案の実践練習（6）	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究（8）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察
24	小学校モデル指導案の実践練習（7）	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・小学校モデル指導案の研究（9）	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の Moodle での省察
26	小学校モデル指導案の実践練習（8） 期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動の Moodle での省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動の Moodle での省察 期末課題作成

テキスト	三省堂『CROWN Jr. 5年生』、『CROWN Jr. 6年生』、 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 平成29年告示』		
履修条件、 前提科目	この科目を履修する学生は、イングリッシュフレンド・サービスラーニング活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中は他の授業を履修することはできない。 この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを履修済みであることを条件とする。		
その他 特記事項	本講は学外での実践的教育を含む科目である。		